

インマヌエル中目黒キリスト教会 2010年1月31日 聖日礼拝

教会シリーズ④

「開かれたアンテオケ教会」

使徒の働き11章19-26節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き11章19-26節

19 さて、

ステパノのことから起こった
迫害によって

散らされた人々は、

フェニキヤ、キプロス、

アンテオケまでも

進んで行ったが、

ユダヤ人以外の者にはだれにも、

みことばを語らなかつた。

20 ところが、

その中にキプロス人とクレネ人が
幾人かいて、
アンテオケに来てからは
ギリシヤ人にも語りかけ、
主イエスのことを宣べ伝えた。

21 そして、
主の御手が彼らとともに
あったので、
大ぜいの人が信じて
主に立ち返った。

22 この知らせが、
エルサレムにある教会に
聞こえたので、
彼らはバルナバを
アンテオケに派遣した。

23 彼はそこに到着したとき、
神の恵みを見て喜び、
みなが心を堅く保って、
常に主にとどまっているように
と励ました。

24 彼はりっぱな人物で、
聖霊と信仰に満ちている人
であった。
こうして、
大ぜいの人々が主に導かれた。

25 バルナバはサウロを捜しに
タルソへ行き、

26 彼に会って、
アンテオケに連れて来た。
そして、まる一年の間、
彼らは教会に集まり、
大ぜいの人たちを教えた。
弟子たちは、
アンテオケで初めて、
キリスト者と
呼ばれるようになった。

説教

教会シリーズ④

「開かれたアンテオケ教会」

使徒の働き**11章19-26節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「弟子たちは、
アンテオケで初めて、
キリスト者と呼ばれるように
なった。」

(使徒11:26)

はじめに

・ 私たちの使命#4

「開かれた共同体」：

「地域に対して・・・

開かれた教会となるよう
努めます。

地域社会のさまざまなニーズに
対して積極的に応え、
より良い社会の形成を
目指します。」

- 開かれた教会の例：
アンテオケ教会

A. アンテオケって？

(イラスト①)

あん



手桶

- シリヤ州の州都 (地図参照) :
シリヤ王アンテオカス1世が
建てた町
- メガシティ :
商売や文化の中心
(ローマ帝国第三の大都市)



● タルソ (サウロの故郷)

● アンテオケ (宣教的教会)

● セルキヤ

オロンテス川

クプロ島

地中海

● ダマスコ (サウロの回心)

● ツロ

● ガリラヤ湖

● カイザリヤ

● エルサレム

死海

使徒たちの旅
Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.

季節によって変わる川
ピロンの旅
ペテロの旅
バルナバとパウロの旅
イルコトとバルナバの旅

私たちは、アンテオケで初めてクリスチャンと仲ばれた。

サウロは、バルナバが来るまで、マルクで暮らしていた。

サウロとバルナバは、まことに見舞われた人々への宣教金を集めてユダヤを旅した。

アンテオケでの福音宣教を確固たるものにするため、バルナバが送られるに。

サウロとバルナバはアンテオケに戻った。そこで、最初の大規模旅行の準備ができるまで福音を伝えた。

サウロはアラビヤへ行き、その後ダマスコへ帰った。

ギリシャ語を使うユダヤ人がサウロの福音を全て知っているのを知ったサウロの兄弟たちは、彼をカイザリヤに連れて行き、マルクに送った。

ペテロは、アンテオケ、コリントを旅し、ローマで死んだ。

ピリポとペテロの二人は、ユダヤとサマリヤを巡り、

- 国際都市：色々な人種の集まり
(イラスト②)



アンテオケ

セルキヤ

オロンテス川

地中海

B. アンテオケ教会の誕生

- ・ エルサレム教会への迫害で
散らされた人々が伝道
(イラスト③)



- 救われてしまった
アンテオケ人：
ユダヤ教への改宗という
ステップ抜きに
直接キリストを信じて救われた
(イラスト④)

- バルナバの励まし：
神の恵みを見て、喜び、
励ました

<おどろくほどかんたん>

いきなりイエス様を信じる

イエス様を
信じる

ユダヤ教に
改宗

<はじめのステップ>

ギリシャ人

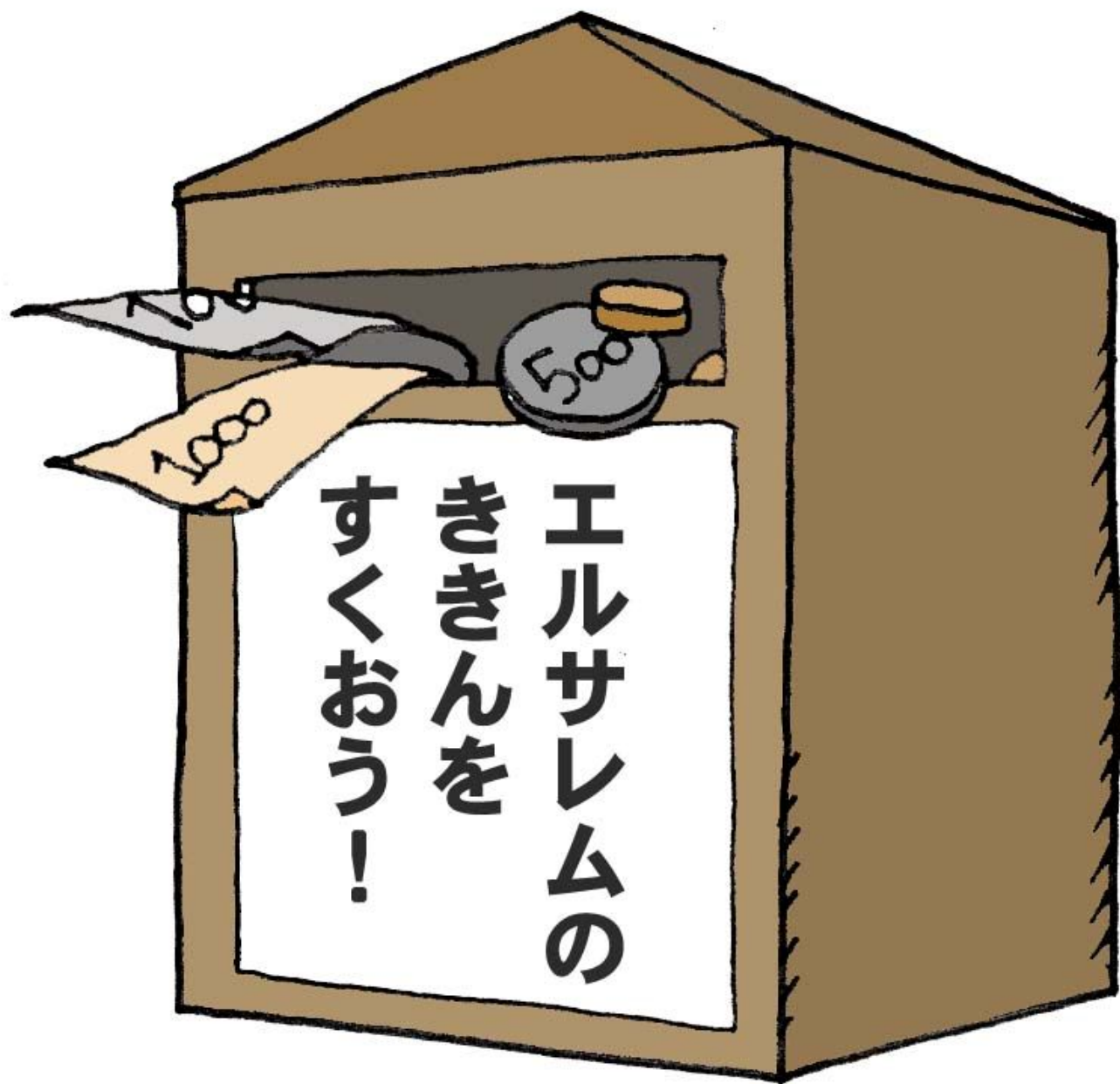
C. アンテオケ教会の特色

- ・「クリスチャン」の元祖：
クリスティアノス
(キリストに従う人)
- ・インターナショナル

VS

エルサレム教会の自文化中心主義

- 与えることを喜ぶ：
エルサレム飢饉を救う募金
（イラスト⑤）
- 世界宣教を始めた教会：
バルナバとサウロを送り、
支え、受け入れた



エルサレムの
ききんを
すくおう！

おわりに：

開かれた心で、教会の外の人々
（特に近所の人々）に接しよう